

「県民協働による事業改善」意見・提案と対応状況 [予算要求時点]

事業名	信州ACE（エース）プロジェクト推進事業
担当部課室名	健康福祉部 健康増進課

【課題】

健康づくり県民運動「信州ACE（エース）プロジェクト」は活動4年目を迎え、これまで県民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組んでいただけるよう様々な取組を行ってきたが、その重要性が県民に浸透しているとは言い難い。

【意見交換の論点】

県民一人ひとりが、健康づくりの意識を一層高め、自らの健康づくりに資する行動へと変えていくには、「信州ACE（エース）プロジェクト」においてどのような施策を実施することが有効と考えられるか。

1 「信州ACEプロジェクト」の認知度向上等

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算要求での対応
1	広告、マーケティング等の専門分野の協力を得る。	<p>信州ACE(エース)プロジェクトの普及については、世代別にアプローチすることが重要であるため、来年度の事業の啓発においては、県が直接実施するよりも効果的、効率的に行うことができる民間業者等へ事業委託することを検討しています。</p> <p>信州ACE(エース)プロジェクト普及発信事業<5,215千円> ・若者～働き盛り世代に向けた健康づくりの普及、発信(※1)</p>
2	認知度、影響力のある人を「ACE大使」にする。	<p>本年度に実施したイベントにおいて、元オリンピック選手の荻原健司氏に参加いただき、大変好評を得たので、来年度もこうした認知度もあり影響力のある方に健康づくりのイベントや普及の際に御協力いただくことを検討しています。</p> <p>信州ACE(エース)プロジェクト普及発信事業<5,215千円> ・若者～働き盛り世代に向けた健康づくりの普及、発信(※1)</p>
3	「しあわせ健康県」といった新しいキャッチフレーズは不要ではないか。	<p>「しあわせ健康県」というフレーズは、平成26年度に信州ACE(エース)プロジェクトを立ち上げた際のスタート宣言として使用しており、その後もプロジェクトの理念(単に「長生き」を追求するだけでなく、一人ひとりが生涯にわたり尊厳と生きがいを持ち、その人らしく健やかで幸せに暮らせる「しあわせ健康県」の実現を目指す)として使用しているものです。</p> <p>パンフレット等の普及啓発物品には、「世界一の健康長寿を目指す」というキャッチフレーズを使用しており、また、信州のブランド発信のためのキャッチフレーズとして「しあわせ信州」があるため、今後も「世界一の健康長寿を目指す」を中心に普及を進めてまいりたいと考えています。</p>
4	薬局で「信州食育発信3つの星レストラン」や「健康づくり応援弁当」販売店の情報が盛り込まれたリーフレットを配布する。	<p>薬事管理課と連携して、健康サポート薬局(※)等において、健康づくりに関するリーフレット等を設置していただくよう要請してまいります。 ※地域住民の病気の予防や健康サポートに貢献する機能を兼ね備えた薬局のこと</p> <p>健康に配慮した食環境整備事業<1,110千円> ・社員食堂における健康に配慮した食事提供への支援 ・コンビニや飲食店等における健康に配慮した弁当やメニュー提供の促進</p>

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段：平成31年度当初予算要求での対応
5	健康への関心が低い者への啓発として、カラオケ店、パチンコ店などで健康づくりにつながるレストラン情報や地域のウォーキングコースの情報にアクセスしてもらうような取組を行ったらどうか。	<p>長野県遊技業協同組合等関係団体と連携して、リーフレットの設置等の協力を依頼してまいります。</p> <p>健康に配慮した食環境整備事業<1,110千円></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社員食堂における健康に配慮した食事提供への支援 ・コンビニや飲食店等における健康に配慮した弁当やメニュー提供の促進
6	健診などへの参加に対し、ポイントを付与し、特典を与えることを考えたらどうか。	<p>30年4月時点で、予定や検討を含め県内44市町村で取組が進められており、その中には県の元気づくり支援金も活用されています。今年度県では、各地域での実施状況を踏まえ、市町村や保険者、有識者と研究会を設置し、長野県らしい制度に関する研究を進めているところです。</p> <p>(ACE(エース)健康ポイント制度研究事業(H30)<785千円>)</p>
7	県民への啓発は、公民館活動の一環として行う。	教育委員会と協議していきたいと考えています。
8	「ACE健康師」認定制度を設け、認定者に県主催の講習の講師を務めもらう。	<p>市町村又は保健福祉事務所で開催する健康教室を修了した方に、食生活改善推進員となっていただき、地域で実施される講座や講習会などでボランティアという形で講師を務めていただいている。今後もこうした健康ボランティアの育成を通じて、健康づくりを県民に普及してまいります。</p> <p>健康ボランティア活動強化事業<779千円></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進員の活動(地域の健康づくりの課題を理解し、課題解決に向けた取組を実践)を支援する研修会や活動強化のための会議を開催
9	現在のマークとは別に、自由に使うことができる「ACEプロジェクト賛同マーク」を作る。	<p>ACEの取組に賛同し、ACEネットワークに参加していただいている企業や団体は、ACE(エース)プロジェクトマークを使用することができます。</p> <p>今後、自由度の高いマークの作成は、どのような形で行うのが適当かを含めて検討してまいります。</p>
10	ラジオCMやテレビCMの活用	<p>来年度の普及発信事業において実施していく方向で検討しています。</p> <p>信州ACE(エース)プロジェクト普及発信事業<5,215千円></p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者～働き盛り世代に向けた健康づくりの普及、発信(※1)
11	駒ヶ根市の無線通信活動量計による「見える化」の活動を他の市町村も導入するようPRすべき。	<p>駒ヶ根市の取組については、ACE(エース)プロジェクトActionモデル市町村の取組として、市町村や事業所等の運動指導者向けの研修会で紹介したり、働き盛り世代を対象として活動量計と効果的な運動を組み合わせた健康づくりの「見える化」体験会を行っています。</p> <p>働き盛りの健康づくり支援関連事業<2,067千円></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険者や経済団体とともに働き盛り世代を対象とした健康づくりの取組を支援、また、これと連動した市町村地域での運動継続の支援を実施

2 企業等における施策

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算要求での対応
12	座位作業の増加への対応として、①運動データが表示されるアプリを開発し(「ACEアプリ」としてコンテストにより開発)、それを利用した企業を表彰する、②ウォーキング、軽ストレッチ、マインドフルネス等を普及する。	<p>①アプリの開発等については、現在ウォーキングアプリとして利用している協会けんぽのアプリの改修等への助成を来年度事業で予算要求しており、その中で御意見の趣旨を踏まえ検討してまいります。</p> <p>②企業におけるACEプロジェクトの促進を図るため、協会けんぽや経済団体等と連携し、事業所が行う健康づくりの取組を進めてまいります。</p> <p>働き盛りの健康づくり支援事業<2,067千円> ・協会けんぽ等保険者や経済団体とともにスマホアプリを活用した働き盛り世代対象の事業所対抗ウォーキングを実施し、企業の健康づくりの取組を支援</p>
13	朝あるいは残業時に簡単に摂ることができる食物(野菜スティック、果物カップ、ナッツ・クルミセットなど(信州産のものとする))の自動販売機の設置に補助金を交付することにより促進する。	<p>御意見の趣旨は重要であると認識していますので、コンビニやスーパー、飲食店等の中食や外食における、野菜たっぷり等の健康に配慮した幅広いメニューの提供を促進し、企業への出前講座等を利用して、中食・外食の利用が多い働き盛り世代に対し取組を周知していきたいと考えています。</p> <p>健康に配慮した食環境整備事業<1,110千円> ・社員食堂における健康に配慮した食事提供への支援 ・コンビニや飲食店等における健康に配慮した弁当やメニュー提供の促進</p>
14	経営者への働きかけを強化する。また、自動販売機の飲料へのエネルギー表示などは自販機を設置している企業全体に広まるような取組みを進める。	<p>保険者や経済団体等で構成している「事業所の健康づくりプロジェクト委員会」において、どのような方法が適切か検討の上、対応してまいります。</p> <p>信州ACE(エース)プロジェクト普及発信事業<5,215千円> ・若者～働き盛り世代に向けた健康づくりの普及、発信(※1)</p>

3 若者を対象とした施策

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算要求での対応
15	楽しく気軽に参加できるよう、「インスタ映え」する企画、婚活と結びついた企画などを行ったらどうか。	<p>本年度ACE公式インスタグラムを開設したところ、健康づくりに関する「インスタ映え」する投稿が多数集まっています。 今後も引き続きこうした取組を行いながら、婚活支援等を管轄する県民文化部等との連携等を通して、若者が気軽に参加できるような企画を検討してまいります。</p> <p>信州ACE(エース)プロジェクト普及発信事業<5,215千円> ・若者～働き盛り世代に向けた健康づくりの普及、発信(※1)</p>
16	年代、性別、職域等を絞り込んだ食事・運動のメニュー作りなど、自分になる情報を提供したらどうか。	<p>ACEプロジェクトでは、公式サイト、公式SNS(Twitter、facebook、インスタグラム)からウォーキングコースやACEメニュー等を紹介しています。 年代、性別、職域等に絞りこんだ情報発信は、「ライフステージ別課題に応じた生活習慣改善実践事業」における取組内容などを発信していくことを検討します。</p> <p>信州ACE(エース)プロジェクト普及発信事業<5,215千円> ・若者～働き盛り世代に向けた健康づくりの普及、発信(※1)</p> <p>ライフステージ別課題に応じた生活習慣改善実践事業<661千円> ・生活習慣病対策に加え、各々のライフステージ別の課題(※2)に応じた健康づくりを推進</p>

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算要求での対応
17	大学と連携し、出前講座、特別講義などを実施したらどうか。	<p>本年度、松本大学、信州大学と連携し、ACE及び食生活改善を学習・体験した上で、学生自ら若い世代に向けた情報発信について検討・発表する取組を実施したところであります、引き続き大学と連携し、学生に対するACEの普及啓発等を推進してまいりたいと考えています。</p> <p>信州ACE(エース)プロジェクト普及発信事業<5,215千円> ・若者～働き盛り世代に向けた健康づくりの普及、発信(※1)</p>

4 その他の施策（全般）

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算要求での対応
18	ライフコースや世代別に健康づくりの課題と重点目標を整理し、情報発信する。	<p>世代別の健康課題として、「若者・子育て世代の食生活への意識の低さ」や「65歳以上の女性の低栄養傾向」などがあるため、世代・対象別の健康づくりに係る取組推進やSNSによる情報発信を行っておりますが、今後も、世代別等の健康課題に応じた情報発信等に努めてまいります。</p> <p>信州ACE(エース)プロジェクト普及発信事業<5,215千円> ・若者～働き盛り世代に向けた健康づくりの普及、発信(※1)</p>

5 その他の施策（A（アクション））

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算要求での対応
19	既存のラジオ体操の普及を図るなど、あまり前のめりにならない見直しをすべき。	<p>御意見の趣旨は重要であると考えており、誰にでも簡単で手軽に取り組むことができる体操やウォーキング等の情報の発信に努めてまいります。</p> <p>信州ACE(エース)プロジェクト普及発信事業<5,215千円> ・若者～働き盛り世代に向けた健康づくりの普及、発信(※1)</p>
20	歩数に応じて県内旅行を疑似体験できるアプリの開発、利用者へのポイント付与等	<p>参加意欲の向上に資するため、アプリの内容の検討が必要と考えております、現在利用している協会けんぽのウォーキングアプリの改修等への助成を来年度事業で予算要求し、その中で御意見の趣旨を踏まえ検討してまいります。</p> <p>ポイント付与等は、健康づくりの取組を促す一つの手法として注目されていることは承知しております、県内市町村でも様々な取組が進んでいます。今年度県では、各地域での実施状況を踏まえ、市町村や保険者、有識者と研究会を設置し、長野県らしい制度に関する研究を進めているところです。</p> <p>(ACE(エース)健康ポイント制度研究事業(H30)<785千円>)</p> <p>働き盛りの健康づくり支援事業<2,067千円> ・協会けんぽ等保険者や経済団体とともにスマホアプリを活用した働き盛り世代対象の事業所対抗ウォーキングを実施し、企業の健康づくりの取組を支援</p>

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算要求での対応
21	自然や土に親しみ、野菜作りに挑戦できる場所づくりを行う。	農政部と協議していきたいと考えています。
22	スポーツを日常的に行うことができる施設を無料又は安価で利用できるようにして欲しい。	
23	学校で、スポーツ活動(部活動)を推奨し、若いうちから習慣づける活動をすべき	教育委員会と協議していきたいと考えています。

6 その他の施策（C（チェック））

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算要求での対応
24	健診は、受診しやすいよう、地域のイベントと併せて行うこととする。	特定健診は、保険者が加入者に対し行うもので、受診案内や、保険者間での相互乗り入れ体制の整備等、受診機会の増大を図る取組も進んでいます。御意見の趣旨を踏まえ、受診率の向上に向けた取組について保険者協議会（※）に働きかけてまいります。 ※保険者の連携協力を円滑に行い、保険者機能を発揮するため、都道府県単位に医療保険の保険者を構成員として設置される組織

7 分析・調査

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算要求での対応
25	市町村（地域）ごとに、県民の健康データの見える化を図り、その結果を市町村に提供する。	現在、健診データ等を市町村別に分析し、地域の健康状態の「見える化」に取り組んでおり、市町村等に情報を提供してまいります。 (医療費適正化推進事業(H30)<1,061千円>) (国民健康保険市町村支援事業(H30)<3,830千円>)
26	市町村ごとの医療費を分析し、地域特性を検証する。	今年度から、医療費や健診データ等について、市町村別の分析に取り組んでいます。 (医療費適正化推進事業(H30)<1,061千円>) (国民健康保険市町村支援事業(H30)<3,830千円>)

8 その他

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算要求での対応
27	県(保健福祉事務所)と市町村との連携強化	地域保健法に基づき、県は市町村での取組が困難な広域的、専門的な業務を担っているところであります。県としては市町村が介入しづらい働き盛り世代への健康づくりの取組等が進むよう事業を展開していきたいと考えております。 (働き盛りの健康づくり支援事業(H30)<2,067千円>)
28	①中小企業等が特定健診受診率を一定以上向上させた場合、協会けんぽ保険料の事業主負担を軽減できる措置をとれないか ②特定健診の受診率向上のため、協会けんぽに補助金を交付する。	① 保険料の事業主負担は、都道府県ごとに医療費の額に応じて、各都道府県の協会けんぽ間で調整されています。 ② 特定健診の受診率向上に向けた取組は保険者協議会が保険者間での相互乗り入れ体制の整備等により取り組んでおり、経年的には受診率は徐々に向上していますが、さらなる受診率向上に向けた協議会への働きかけを検討していきます。 協会けんぽに対しては、働き盛り世代の健康づくりの取組の支援のための補助金を拠出しております。 (働き盛りの健康づくり支援事業(H30)<2,021千円>)

※1 若者～働き盛り世代に向けた健康づくりの普及、発信

- ①スマホ向けアプリを用いた事業所対抗ウォーキングの実施
- ②健康ACE企業の表彰
- ③新聞、フリーペーパー、雑誌、メディア等による広告等の活用

※2 ライフステージ別の課題

- ①若い世代や子育て世代の食生活
- ②65歳以上女性の低栄養傾向の増加

<「学生からの意見・提案」に続く>

学生からの意見・提案

【課題】

若い世代（学生）の皆様に、健康づくりに対する意識を高めていただき、早い段階から生活習慣病（肥満・高血圧等）予防につながる望ましい生活習慣※を身に着けていただくことが重要と考えている。

※望ましい生活習慣

- ・日頃から運動に取り組む(A)
- ・自分のからだ（血圧・体重）をチェックして状態を知る(C)
- ・塩分の取り過ぎに注意するとともに、野菜を摂取し、バランスのとれた食事をする(E)

【点検者（学生）の皆様にご意見・ご提案をいただきたい事項】

- ①若い世代（学生）の皆様に、健康づくりに対する意識を持っていただくためには何が必要か
- ②若い世代（学生）の皆様に、望ましい生活習慣を身に着けていただく（実際に行動していく）ためには何が必要か
- ③そのために県は何をすればよいか

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段：平成31年度当初予算要求での対応
29	大学の一角に簡易な複合型スポーツ施設（各種ミニコート、バブルサッカー、スラックラインなど）を整備する。	若年層から高年齢層まで、誰でも気軽に運動することができる環境を整備することは、健康づくりに日常的に取り組む者を増加させるためにも必要であると認識しています。 大学の近辺、学生が多く居住する街中に、運動できる施設があることは非常に望ましいことと思われますので、教育委員会等を通じ、大学が所在している市町村に向けて提案していくことも検討できます。 ただし、大学内での施設の設置ということであれば、まずは大学においてご対応いただくことがよいかと思われます。
30	大学の学祭などで、県も協力した「バブルラン」のようなエンターテイメント性のあるランニングイベントを開催し、体に良い食べ物を提供する。	学生向けのイベントを考えていく上では、教育委員会などと連携し、若い人がぜひ参加したいと興味を持ってもらえるよう検討してまいります。なお、県内大学とのコラボレーションについては、各大学の学祭において、健康や食生活改善、体力測定等のブースを設ける等、対応を検討してまいります。 信州ACE（エース）プロジェクト普及発信事業<5,215千円> ・若者～働き盛り世代に向けた健康づくりの普及、発信（※1）
31	一人暮らしの学生にも、健康に配慮した食事ができるよう学生向けレシピ（からだポカポカ優しい味わい雑穀スープ）を考案	手軽にできる健康に配慮したメニューが学生が考案したレシピなどをクックパッドの長野県公式キッチンに掲載してまいります。 (信州の食を育む実践事業(H30)<1,237千円>)

※1 若者～働き盛り世代に向けた健康づくりの普及、発信

- ①スマホ向けアプリを用いた事業所対抗ウォーキングの実施
- ②健康ACE企業の表彰
- ③新聞、フリーペーパー、雑誌、メディア等による広告等の活用